

Founder of Blastbeat

Robert Stephenson

We want to put fun back into education, starting with music.



音楽の力で、教育に「楽しさ」をプラスしたい。

学生にミニ音楽会社をつくらせ、ライブを運営させる。U2など著名バンドを手がけたプロデューサーが異色のNPO「ブラストビート」を立ち上げた。その思いは？

Q: What was your purpose in visiting Japan for a second time?

A: It's been one year since Blastbeat came to Japan. Now hundreds of people are involved. Several Japanese corporations' CSR departments work with us. We've piloted Blastbeat secondary schools and universities with success and are working with *hikikomori* children who are locking themselves in their rooms. We've seen great changes in them.

Q: How did that happen?

A: It's using the passion of young people—what their interest is and wrapping the learning experience around that. Blastbeat teaches them to set up their own music company, and they put on a concert. Even for children who are staying in their bedrooms, you need something to pull them out and to integrate them back into society. The best thing is starting with music. Even the kids who do video games listen to a lot of music.

Q: How do they create an organization?

A: We have a simple curriculum to follow. If I meet a group of 30 students, the first thing I will ask is "Who likes music? Who wants to make some money? Would you like to organize a concert?" You have their interest right away. Then "What job would you like? You want to be CEO? Market manager? Photographer?" All the groups in the world compete against one another. We give every group points for each business process by taking their social infrastructure into consideration.

Q: What was the background to starting Blastbeat?

A: In the 1990s, I recognized a

Q: 2度目の来日の目的は？

A: ブラストビートが日本で始まってから2年目になりますが、すでに数百人が参加しています。数社のCSR（企業の社会的責任）部門の協力も得ました。高校や大学での試験的な活動も成功し、ひきこもりの子どもたちも参加しています。

Q: どのようにしたのですか？

A: 若者の情熱を、彼らの興味のあることに結びつけました。ブラストビートは、自分たちで音楽の会社を立ち上げる方法を教えて、コンサートを開いてもらいます。寝室にこもっている子たちも、何かをきっかけに社会に戻るかたちで出てきてもらわないといけません。ゲームをしている子たちも音楽はたくさん聴いているんです。

Q: 会社はどうやってつくるのですか？

A: シンプルなカリキュラムがあるんです。もし30人の学生に会ったらまず最初に、音楽が好きか、お金をもうけたい人、コンサートを運営したい人など彼らの興味を探り、それから役割を決めます。責任者、マーケティング部長、写真家など。こうしてつくられた世界中のグループが競争します。私たちが、それぞれのインフラ環境を考慮に入れて、実行過程で点数をつけていくのです。

Q: そもそも活動を始めたきっかけは？

A: 1990年代、私の住んでいたダブリンには問題がありました。10代の若者たちが道にたむろして、酒やたばこ、マリファナなんかをやっている

problem in my own city, Dublin. Teenagers hung out on the street in central Dublin. They would be drinking, smoking, smoking marijuana, etc. I said, "OK, we will put on a concert." And kids said that they were OK with that. I saw how much kids loved this. The idea came into my head that I could get this into schools and combine business programs with organizing musical events. That was in 1998.

Q: What does Blastbeat stand for?

A: Blast means having a blast and beat is the musical sense, so it is having fun with music. Putting fun back into education. The educational system now is designed for the industrial age, focusing on tests. We are in the information age now and we need to allow young people freedom to express themselves intellectually.

Q: What do you think is the mission of Blastbeat?

A: I am trying to change the world. It is about creating a global movement of social entrepreneurship. How we are doing that is empowering young people to realize that they can create their own business—they must be happy doing it and also happy giving something back to help others. I'm positive about the future, because I have seen the change.

たんです。あるとき「みんなでコンサートを開こう」と言いました。子どもたちはOKし、とても好評でした。そこで、音楽イベントのビジネスプログラムを学校教育に取り入れたらどうかと思ったんです。それが1998年のことでした。

Q: 名前の由来は？

A: blastは「楽しむこと」。beatは「音楽」を表す言葉です。音楽で楽しもう、教育に楽しさを加えようという意味をこめています。いまの教育は、試験に力を入れたという、産業化の時代に設計されたもの。いまは情報化の時代なのです。若者が知的に自由な表現ができるよう後押ししていく必要があると思うのです。

Q: この活動のミッションとは何ですか？

A: 世界を変えることです。地球規模で、社会起業家精神を広げる運動を起こしたいですね。若者に権限を与えて、自分自身で起業できることに気づいてもらう。彼らは楽しみながら、利益の一部を還元してほかの人々を助けるようになるはず。これまで自分の目で見えてきたので、未来への展望は非常に明るいですね。

動画がアエラ・イングリッシュホームページで見られます！<http://www.aera-net.jp/english/>にアクセスを。AERA English TVでもどうぞ！（P78参照）



ブラストビートとして日本で初開催したライブ（2010年3月19日、東京・江古田のライブハウスで）。100人以上の来場者があり、11万円を見童養護施設支援のNPOに寄付した

PROFILE ロバート・スティーンソン

- 1953年 アイルランド・ダブリン生まれ。音楽業界で25年間プロデューサーとして活動
- 98年 子どもたちを対象としたライブイベント、Blastを立ち上げる
- 2003年 音楽を使った社会教育プログラム、Blastbeatを開始
- 06年 アイルランド社会起業家賞を受賞
- 09年 日本で事務局が発足。10年、非営利組織（NPO）として認定される
- 11年 日韓共同プロジェクト、大学生プロジェクトなどを展開

AERA English INFORMATION

AETV

動画で学ぶ無料学習サイト

英語学習用の無料動画サイト「AERA English TV」(AETV)、もうお試しになりましたか? 有名人インタビューやおもしろ動画を視聴できるだけでなく、英文を1行ごとに止めて聞いたり、発音をチェックできたりする便利な機能が満載。今月の本誌からは、マイケルのデキるビジネス英語入門 (P40)、バックン対談 (P72)、来日インタビュー (P6、8、9) の計5本をご覧ください。



バックン対談: アデルさん

Welcome to Japan!



ロバート・ステイブソンさん

ヴァルラウン

ティナ・シーリグさん

●まずは無料登録しよう。

下記アドレスにアクセスして、動画リストのどれかひとつをクリック。

<http://アエラTV.com/>

「アエラ」は全角カタカナ、ほかは半角で入力(サイトが表示されない場合は<http://access.englishcentral.com/aera>と入力してください) ※推奨環境 Microsoft Internet Explorer 7.0以降、Firefox 2.0以降またはSafari 3.0以降。Flash Player 10以降が必要。解像度XGA (1024×768) 以上。

●新規登録画面の指示に従って必要事項を入力し、「新規登録」ボタンをクリックすれば、登録完了。次回以降にアクセスするときは、Eメールアドレスとパスワードを入力してログインしてください。

※AETVは、英語学習動画サイトEnglishCentralのチャンネルの一つです。EnglishCentralにはAETVの動画のほか、無料で楽しめる一般コンテンツなどもあります。問い合わせは English Central (support-ja@EnglishCentral.com) まで。

INFO

AERA Englishはブラストビートの活動を応援しています!



6ページでインタビューを掲載したロバート・ステイブソン氏が率いるNPO、ブラストビート。今回のご縁をきっかけに、アエラ・イングリッシュでは新たな試みを行いました。クーポン共同購入サービスの社会貢献活動支援版ともいえるウェブサイト「Bazaar」(運営・株式会社バザール)に、4月号100部とバックナンバーを寄付。このサイトを通して本誌

を購入していただいた場合は、代金がそのままブラストビートへと寄付されます。詳しくはウェブをご覧ください。http://www.bazaarjapan.com/

アエラ・イングリッシュでは今後もさまざまな社会貢献活動に、参加していきたいと考えています。



CALENDAR

3月

- 6日 第38回TOEIC Bridge公開テスト(日) TOEICスピーキング/ライティング公開テスト
- 13日 第161回TOEIC公開テスト(日)
- 17日 St. Patrick's Day(木)

18日 第162回TOEIC公開テスト(試験月) 日5月29日 申込締切(申込書使用)

19日 第162回TOEIC公開テスト(試験火) 日5月29日 申込締切(インターネット申込は～正午、コンビニ店頭申込は～24:00)

24日 Easter(日)

4月

- 1日 April Fool's Day(金)
- 10日 TOEICスピーキング/ライティング公開テスト(日)

※TOEICスピーキング/ライティングテストに関するお問い合わせは(財)国際ビジネスコミュニケーション協会IBTオペレーションセンター ☎03-5521-6077

※S/Wテスト以外のTOEICに関するお問い合わせは(財)国際ビジネスコミュニケーション協会東京業務センター ☎03-5521-6033

WEBSITE



●AERA English公式サイトです。動画、音声などを公開しているほか、関連情報もいち早くアップ。AERA-netをチェック!

<http://www.aera-net.jp/english/>

Twitter

●編集部からのお知らせや編集部の様子をツイート! 感想やご意見などもぜひお寄せください。Follow me!

Twitter ID: @aeraenglish

